



平成15年岡山県護国神社前に建設、移転した岡山県神社庁

存亡の時であったため、折からの交通難にもかかわらず、全国から各都道府県の代表者九十二名が参集した。
同十二月十五日、GHQから「国家神道、神社神道に対する政府の保証、支援、保全、監督並びに弘布の廃止に関する件」すなわち世にいう「神道指令」の覚書が日本政府に手交された。

昭和二十一年一月十八日、第四回神祇本庁設立準備中央委員会が神祇会館で開催され、新団体は、新宗教法人令に準拠し、名称は「神社本庁」とする事が決定された。
同二月二日、神祇院が廃止され、明治以降八十年の神社に関する国家管理はその幕を閉じ、神宮、神社及び神官、神職は国家の手から切り離された。
翌日の昭和二十一年二月三日、伊勢神宮を本宗と仰ぎ、包括する全国約八〇、〇〇〇社の管理や指導を目的に、東京都渋谷区東に神社本庁が設立された。その後、昭和六十二年に東京都渋谷区代々木に新庁舎を建設し、移転した。

岡山県神社庁都窪支部管内神社

No.	神社名	所在地
1	嚴島神社	岡山市南区山田八〇二
2	稲荷神社	岡山市北区庭瀬七七六
3	御崎神社	岡山市北区西花尻一三八
4	御前神社	岡山市南区妹尾八九七一
5	吉備護國神社	岡山市北区西花尻一〇八
6	祇園神社	岡山市南区大福四九六
7	栗村神社	岡山市南区妹尾一五一三
8	伍社神社	岡山市南区山田一四八
9	清山神社	岡山市北区庭瀬八二八
10	須佐之男神社	岡山市北区中撫川五〇二
11	天神社	岡山市北区東花尻五二五
12	天神社	岡山市北区西花尻二七九
13	八幡神社	岡山市北区大内田五五七
14	八幡神社	岡山市北区中撫川五五一
15	八幡神社	岡山市北区川入一六五
16	八幡神社	岡山市北区川入一四六

17	八幡神社	岡山市南区大福二六
18	箕島神社	岡山市南区箕島三二五一一
19	稲荷神社	倉敷市茶屋町一五四七
20	岩倉神社	倉敷市日畑二〇三
21	栗坂神社	倉敷市栗坂五九二
22	鯉喰神社	倉敷市矢部一〇九
23	真宮神社	倉敷市西尾五〇四
24	住吉神社	倉敷市茶屋町早沖六九〇
25	八幡神社	倉敷市上東三四一
26	兩兒神社	倉敷市松島九四三
27	若宮神社	倉敷市山地三八七
28	愛宕神社	都窪郡早島町早島五二五九
29	國針神社	都窪郡早島町早島一五五一
30	熊野神社	都窪郡早島町矢尾六三一
31	荒神社	都窪郡早島町早島五二五八
32	鶴崎神社	都窪郡早島町早島二二二〇
33	龍神社	都窪郡早島町早島一三
34	和霊神社	総社市岡谷九八一

神社本庁設立に伴い、各都道府県に地方機関として神社庁が設立されて行った。昭和二十一年三月十二日には、吉備津神社事務所内に当時、同神社宮司であった橋本甚一氏を庁長として、岡山県神社庁が設立された。その後、岡山県護国神社事務所内、岡山市南方に庁舎を建設し、移転。平成十五年岡山市奥市に新庁舎を建設し、移転した。
県神社庁は県内の一六二三社の組織体として置かれ、下部組織として二十七の支部を擁している。当社はその内の都窪支部に属する。都窪支部は旧都窪郡内（旧清音村と旧山手村の一部の神社を除く）に鎮座している三十四社を擁している。

祭祀

神社の祭祀（祭り）は祭祀規程により左表の通り大祭、中祭、小祭に分けられており、各神社が地域や伝統に則りそれぞれ執行している。当社の一年間の祭典は左記の通りである。

- ◆ 年始祭 一月二日
- ◆ 春季大祭宵祭 五月第三日曜日の前日
- ◆ 春季大祭 五月第三日曜日

記

祭記名	祭記の意義
大祭	
例祭	恒例によって一年に一回執り行われる最も重要な祭記。
祈年祭	新年から春にかけて、五穀豊穡と共に、皇室の御隆昌と国家万民の安泰を祈る祭儀。
新嘗祭	11月23日に新穀の恵と神恩感謝の意を込めて、皇室の御隆昌と国家万民の安泰を祈る祭儀。
式年祭	一定の年を期し、定例の式によって執り行われる祭儀。
鎮座祭	神社を新たに建立し、神霊を鎮め奉る祭儀。
遷座祭	神霊を本殿から仮殿に遷す仮殿遷座祭と仮殿から本殿へ遷す本殿遷座祭とがある。
合祀祭	神霊を合わせ祀る祭記で、神社合併の場合と、祭神増祀による場合とがある。
分祀祭	祭神を他の神社や、分社に分けて祀る祭記。
中祭	
歳旦祭	元旦の朝に新年を祝い、皇室の御隆昌と国家万民の安泰を祈る祭儀。
元始祭	年頭にあたり、天皇の大元を言祝ぎ万世一系の永続と国の隆昌を祈る祭儀。
紀元祭	神武天皇が即位された、日本の建国を祝い、皇室と国の隆昌を祈る祭記。
天長祭	天皇の誕生日にあたり、聖寿の万歳と国の長久とを祈る祭記。
神嘗祭当日祭	10月17日伊勢神宮で新穀を奉る神嘗祭の当日、神社において奉祝する祭記。
明治祭	明治天皇の誕生日にあたり、その偉業を偲び、我が国の文化産業の発展を祈る祭記。
小祭	
大祭、中祭以外の祭記	

年始祭

元日の早朝に宮中および全国の神社で、年頭の祭儀として歳旦祭が行われるが、当社では一月二日午後二時から新しい年を寿ぎ、皇室の弥栄と国家の隆昌、氏子崇敬者の安泰を祈念して年始祭として執行している。

- ◆ 夏祭 七月三十日
- ◆ 秋季大祭 十月第三日曜日の前日
- ◆ 神幸祭 十月第三日曜日
- ◆ 新穀感謝祭 十一月二十三日
- ◆ 月次祭 毎月一日

春季大祭宵宮祭

春季大祭の前夜午後七時から行われる宵宮祭で、翌日の祭典に際し、浄闇である夜に神霊を迎える祭典。



春季大祭宵宮祭（伝供を奉仕する神職と巫女）

春季大祭

宮中や伊勢神宮を始め全国の神社で年の始めから初時き時期までに、穀物の豊穡を祈ると共に国家の安泰を祈念する祈年祭という重要な